

V 施工(3. 材料管理) ①重要事項の解説

「3. 材料管理」で2回以上繰り返し出題のある重要項目(H8～H27)は、下記の通りである。

(1) 保管方法

※過去に選択肢問題として6回出題有

- ・ビニル床シートは、ねじれや変形防止のため、**縦置き**とする(俵積みとすると、しわができるので良くない)。
- ・アスファルトルーフィングの保管は、**縦積み**とする。
- ・アスファルト防水に使用する砂付ストレッチルーフィングは、**縦積み**とし、2段に重ねないように保管した。
- ・工事現場に搬入されたロールカーペットの保管については、縦置きせず、**横**に倒して3段までの俵積みとした。

(2) レディーミクストコンクリート

※過去に選択肢問題として3回出題有

- ・レディーミクストコンクリートの調合(配合)は、生産者が購入者と**協議**のうえ定めた。
- ・レディーミクストコンクリートの受入れ検査におけるスランプ及び空気量の**試験**は、荷卸し地点で行う。

(3) MSDS

※過去に選択肢問題として3回出題有

- ・塗料、接着剤等の化学製品の取扱いは、当該製品の製造所が作成したMSDS(製品安全データシート)を**常備**し、記載内容の周知徹底を図り、作業員の健康、安全の確保及び環境保全に努める。

(4) シーリング工事

※過去に選択肢問題として2回出題有

- ・シーリング工事の**バックアップ材**は、シーリング材と接着せず、シーリング材の性能を低下させないものとした。

(5) 押出成形セメント板の保管

※過去に選択肢問題として2回出題有

- ・外壁工事に用いる押出成形セメント板は、積置き高さを最大で**1m以下**とする。

(6) ガスシールドアーク溶接

※過去に選択肢問題として2回出題有

- ・数日保管したガスシールドアーク溶接のソリッドワイヤは、ワイヤの表面に**錆**がなかったので、そのまま使用した。

(7) 吹付けロックウール

※過去に選択肢問題として2回出題有

- ・吹付けロックウールによる耐火被覆の施工において、吹付け厚さ確認の**確認ピン**は、施工後もそのまま存置した。

(8) 塗料の布

※過去に選択肢問題として2回出題有

- ・塗料をふき取った布等で、自然発火を起こすおそれのあるものは、作業終了後、**分別**して処理した。

(9) 圧縮強度の検査

※過去に選択肢問題として2回出題有

- ・構造体コンクリートの圧縮強度の**検査**は、適当な間隔をあけた任意の3台の運搬車から1台につき3個ずつ採取した合計9個の供試体により行う。

(10) 品質明示なしの材料

※過去に選択肢問題として2回出題有

- ・設計図書に品質が明示されていない工事材料は、**中等**の品質のものを使用した。